

# 2014年3月期 決算説明資料

---

2014年5月22日  
文化シヤッター株式会社

# 目次

## 2014年3月期の実績について P 1

事業環境について P 2

業績について P 3

売上高及び営業利益の増減要因 P 4

セグメント別売上高及び営業利益 P 5

売上高の用途別セグメント別増減分析 P 6

## 2015年3月期の見通しについて P 7

事業環境予想について P 8

業績見通しについて P 9

売上高及び営業利益の増減要因 P10

セグメント別状況 P11

## 第三次中期経営計画の進捗状況について P12

計画の進捗状況と事業別売上高推移について P13

営業力の革新① ストック市場への注力 P14

営業力の革新② シャッター・ドア事業の強化 P15

営業力の革新③ 施工力の強化 P16

営業力の革新④ 不二サッシ株式会社とのシナジー効果追求 P17

営業力・商品力の革新① 高付加価値商品の拡販 P18

営業力・商品力の革新② P19

「エコ&防災」太陽光発電システム事業の取り組み強化

営業力・商品力の革新③ P20

「エコ&防災」止水事業の取り組み強化

営業力・生産力の革新 海外事業の展開 P21

経営基盤の革新 企業コストの削減(BXTCR)の取り組み強化 P22

## 参考資料 参- 1

文化シャッターグループ概要 参- 2

文化シャッターグループの構成と海外事業展開 参- 3

連結貸借対照表 参- 4

連結キャッシュフロー計算書 参- 5

シャッター関連製品事業(主要製品) 参- 6

建材関連製品事業(主要製品) 参- 7

サービス事業、リフォーム事業 参- 8

# 2014年3月期の実績について

---

# 事業環境について

	2012年3月期		2013年3月期		2014年3月期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
新設住宅着工戸数 (万戸)	84.1	102.7%	89.3	106.2%	<b>98.7</b>	110.6%
持ち家 (万戸)	30.4	98.8%	31.6	103.8%	<b>35.2</b>	111.5%

非住宅着工床面積 (万㎡)	4,752	106.8%	5,203	109.5%	<b>5,625</b>	108.1%
医療・福祉 (万㎡)	1,093	126.5%	924	84.5%	<b>1,111</b>	120.2%
工場・倉庫 (万㎡)	1,282	117.4%	1,495	116.6%	<b>1,506</b>	100.7%

◆ 経済環境は、アベノミクスによる金融緩和策や経済政策に伴う円安の進行、株価の上昇等により企業収益、設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復基調となった。

その一方で、欧州諸国の財政問題をはじめとした海外景気の下振れリスク、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動等、依然として先行きの不透明感は拭いきれない状況で推移した。

◆ 建築市場は、消費税増税に伴う駆け込み需要の影響もあり、新設住宅着工戸数は98万7千戸と4年連続で増加。非住宅着工床面積は、5,625万㎡と4年連続で増加した。

# 業績について

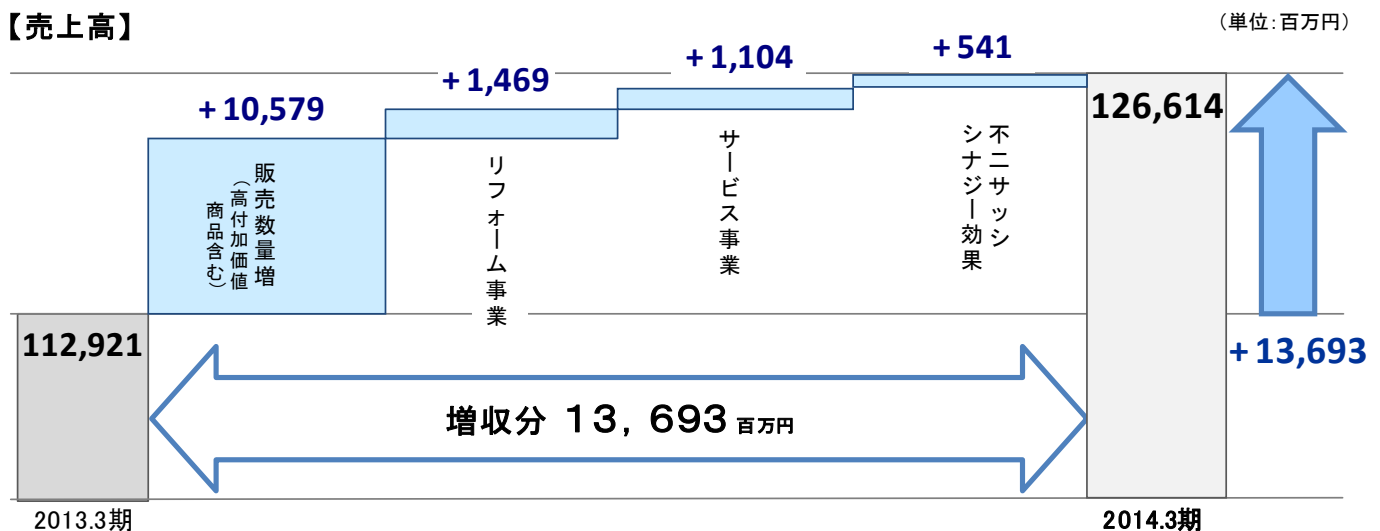
(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	112,921	100.0%	<b>126,614</b>	100.0%	112.1%
売上原価	83,163	73.6%	<b>91,647</b>	72.4%	110.2%
売上総利益	29,758	26.4%	<b>34,966</b>	27.6%	117.5%
販売費及び一般管理費	24,242	21.5%	<b>25,430</b>	20.1%	104.9%
営業利益	5,515	4.9%	<b>9,536</b>	7.5%	172.9%
経常利益	6,779	6.0%	<b>10,543</b>	8.3%	155.5%
当期純利益	6,734	6.0%	<b>7,957</b>	6.3%	118.2%
1株当たり配当金	10円		<b>14円</b>		+4円
設備投資額	1,845		<b>2,681</b>		145.3%
減価償却費	1,556		<b>1,652</b>		106.2%
期末 従業員 (人)	正社員	3,296	<b>3,374</b>		+78
	臨時雇用者	819	<b>891</b>		+72
	合計	4,115	<b>4,265</b>		+150

- ◆ 売上高は、7期ぶりに過去最高を更新し、4期連続の増収。
- ◆ 営業利益と経常利益は、過去最高を更新し、4期連続の増益。  
当期純利益は昨年に続いて過去最高を更新し、4期連続の増益。
- ◆ 1株当たり配当金は、4円増配の14円。
- ◆ 設備投資額は、工場設備の合理化及び更新などで18億9,200万円、太陽光発電システム事業への投資で5億4,500万円、BXケンセイ第2工場棟建設で2億4,400万円の、合計で26億8,100万円。

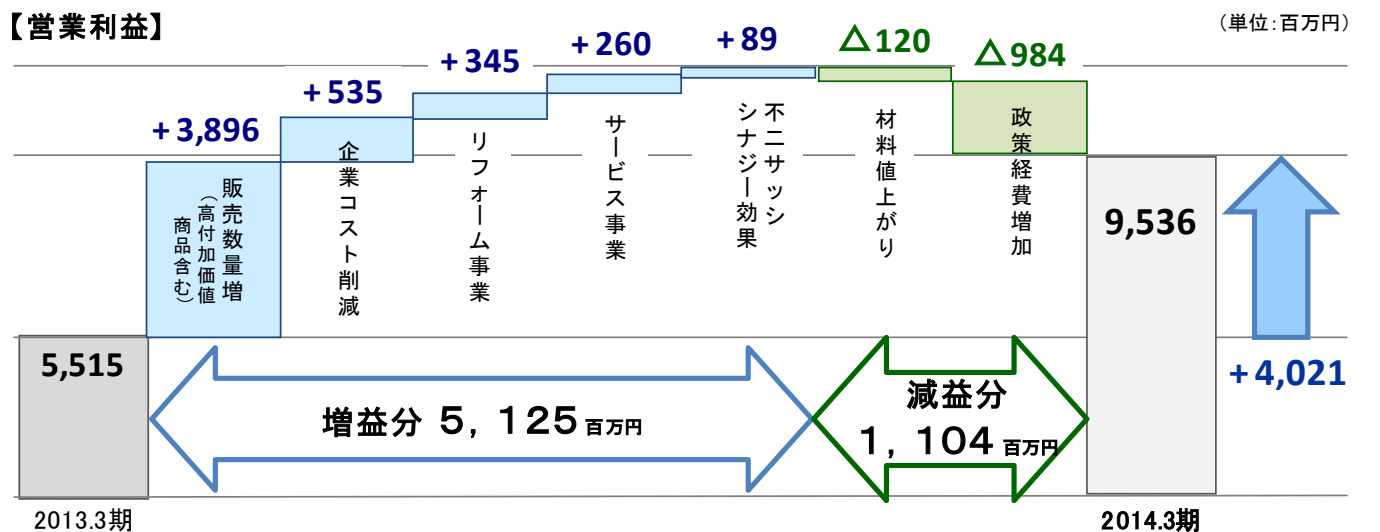
# 売上高及び営業利益の増減要因

## 【売上高】



- ◆ 売上高は、「販売数量の増加」「リフォーム事業の売上拡大」などが寄与し、136億9,300万円の増収。

## 【営業利益】



- ◆ 営業利益は、「販売数量の増加」「企業コスト削減」の取り組みなどが寄与し、40億2,100万円の増益。

# セグメント別売上高及び営業利益

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	41,663	5,305	47,931	7,128
伸率	107.3%	141.7%	115.0%	134.3%
伸額	2,848	1,560	6,268	1,823
建材関連製品事業	45,203	734	49,195	2,249
伸率	118.4%	-	108.8%	306.2%
伸額	7,019	1,010	3,992	1,515
サービス事業	13,879	1,437	14,983	1,697
伸率	103.9%	116.8%	108.0%	118.1%
伸額	521	207	1,104	260
リフォーム事業	9,573	395	11,042	740
伸率	98.1%	87.9%	115.3%	187.2%
伸額	△ 185	△ 54	1,469	345
その他事業	2,602	110	3,461	179
伸率	116.0%	563.5%	133.0%	163.0%
伸額	359	91	859	69
配賦不能額	-	2,467	-	2,458
合計	112,921	5,515	126,614	9,536
伸率	110.3%	201.4%	112.1%	172.9%
伸額	10,560	2,777	13,693	4,021

- ◆ シャッター関連製品事業は、主に大型物流倉庫向けの重量シャッターや、住宅向けの窓シャッターが好調に推移したこと等により、増収増益。
- ◆ 建材関連製品事業は、大規模商業施設やオフィスビル向けのスチールドアやパーティション、病院・福祉施設向けのバリアフリー引き戸などが好調に推移したこと等により、増収増益。
- ◆ サービス事業は、修理、メンテナンス対応が好調に推移したことにより、増収増益。
- ◆ リフォーム事業は、定額パッケージ商品の拡充と、リピートオーダーを押し進める取り組みが好調に推移したことにより、増収増益。
- ◆ その他事業は、太陽光発電システム事業と止水事業が好調に推移したこと等により、増収増益。
- ◆ 14年3月期は、全セグメントにおいて増収増益を達成。

# 売上高の用途別セグメント別増減分析

(単位: 億円)

		増減収	大型商業施設 工場倉庫向け	医療福祉 学校向け	オフィスビル 公共施設向け	その他 住宅向け等	
<b>増収額合計</b>	増減	<b>136.9</b>	<b>49.6</b>	<b>18.8</b>	<b>10.3</b>	<b>58.2</b>	
<b>売上高合計</b>	売上高	<b>1,266.1</b>	<b>397.7</b>	<b>207.2</b>	<b>138.6</b>	<b>522.6</b>	
シャッター関連事業計	増減	<b>62.7</b>	<b>39.2</b>	<b>2.6</b>	<b>△ 1.1</b>	<b>22.0</b>	
	売上高	479.3	226.7	27.8	30.1	194.7	
	軽量シャッター群	増減	<b>11.2</b>	<b>4.4</b>	<b>0.2</b>	-	<b>6.6</b>
		売上高	154.0	68.5	3.5	7.8	74.2
	重量シャッター群	増減	<b>32.1</b>	<b>30.0</b>	<b>1.0</b>	<b>△ 0.5</b>	<b>1.6</b>
		売上高	188.4	124.0	11.0	14.7	38.7
窓シャッター群	増減	<b>13.0</b>	-	-	-	<b>13.0</b>	
	売上高	63.9	-	-	-	63.9	
シャッター関連群	増減	<b>6.4</b>	<b>4.8</b>	<b>1.4</b>	<b>△ 0.6</b>	<b>0.8</b>	
	売上高	73.0	34.2	13.3	7.6	17.9	
建材関連事業計	増減	<b>39.9</b>	<b>7.5</b>	<b>12.9</b>	<b>6.5</b>	<b>13.0</b>	
	売上高	492.0	82.2	170.5	79.8	159.5	
	エクステリア群	増減	<b>5.1</b>	-	-	-	<b>5.1</b>
		売上高	73.1	-	-	-	73.1
ドア・パーティション群	増減	<b>34.8</b>	<b>7.5</b>	<b>12.9</b>	<b>6.5</b>	<b>7.9</b>	
	売上高	418.9	82.2	170.5	79.8	86.4	
サービス事業計	増減	<b>11.0</b>	<b>1.5</b>	<b>2.0</b>	<b>4.0</b>	<b>3.5</b>	
	売上高	149.8	79.4	6.0	25.5	38.9	
リフォーム事業計	増減	<b>14.7</b>	-	-	-	<b>14.7</b>	
	売上高	110.4	-	-	-	110.4	
その他事業計	増減	<b>8.6</b>	<b>1.4</b>	<b>1.3</b>	<b>0.9</b>	<b>5.0</b>	
	売上高	34.6	9.4	2.9	3.2	19.1	

- ◆ 「大型商業施設、工場・倉庫向け」は、重量シャッターが好調に推移し、397億7千万円と49億6千万円の増収。
- ◆ 「医療福祉・学校向け」は、ドア・パーティション群のバリアフリー対応引き戸「カームスライダー」が好調に推移し、207億2千万円と18億8千万円の増収。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設向け」は、スチールドアとパーティションが好調に推移し、138億6千万円と10億3千万円の増収。
- ◆ 「その他住宅向け等」は、窓シャッター、軽量シャッター、住宅向けドア、リフォーム事業が好調に推移し、522億6千万円と58億2千万円の増収。



# 2015年3月期の見通しについて

---

# 事業環境予想について

【事業環境】	2013年3月期		2014年3月期		2015年3月期	
	実績	前期比	実績	前期比	予想	前期比
新設住宅着工戸数 (万戸)	89.3	106.2%	98.7	110.6%	<b>89.8</b>	<b>91.0%</b>
持ち家 (万戸)	31.6	103.8%	35.2	111.5%	<b>30.4</b>	<b>86.4%</b>
非住宅着工床面積 (万㎡)	5,203	109.5%	5,625	108.1%	<b>5,742</b>	<b>102.1%</b>

新設住宅着工戸数の予想値は、住宅生産団体連合会のデータを引用  
非住宅着工床面積は、建設経済研究所のデータを元に試算

【売上構成比】	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
住宅向け	27.2%	27.6%	—
非住宅向け	72.8%	72.4%	—

- ◆ 経済環境は、消費増税駆け込み需要の反動による一時的な消費低迷や、円安による鋼材など材料価格の上昇等が懸念されるものの、アベノミクスによる各種経済対策の実施により、緩やかながらも回復基調で推移すると予想される。
- ◆ 新設住宅着工戸数は、消費税増税による駆け込み需要の反動により、前期比91.0%の89万8千戸を予想。
- ◆ 非住宅着工床面積は、大型物流倉庫やオフィスビル、商業施設を中心に回復基調が継続する見込みから、5年連続の増加となる前期比102.1%の5,742万㎡を予想。

# 業績見通しについて

(単位:百万円)

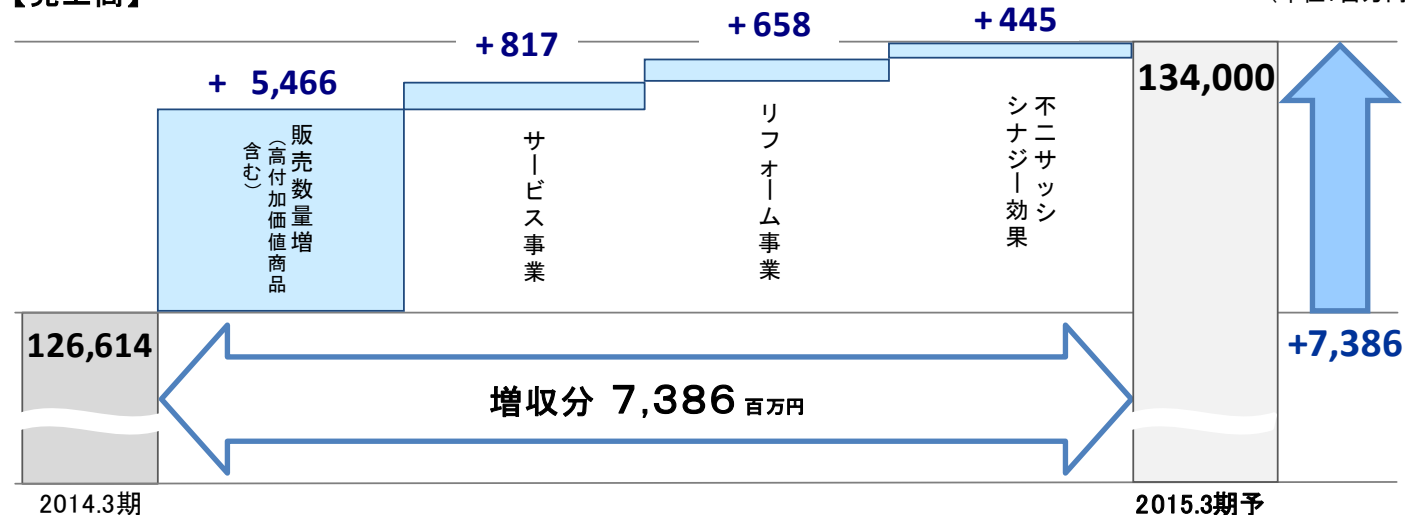
	2014年3月期			2015年3月期							
	上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	前年同期比	下期予想	前年同期比	通期予想	売上比	前期比	
										伸率	伸額
売上高	56,573	70,041	126,614	60,000	106.1%	74,000	105.7%	134,000	100.0%	105.8%	7,386
売上原価	41,513	50,134	91,647	43,800	105.5%	53,200	106.1%	97,000	72.4%	105.8%	5,353
売上総利益	15,060	19,906	34,966	16,200	107.6%	20,800	104.5%	37,000	27.6%	105.8%	2,034
販売費及び一般管理費	12,429	13,001	25,430	13,000	104.6%	14,000	107.7%	27,000	20.1%	106.2%	1,570
営業利益	2,630	6,906	9,536	3,200	121.7%	6,800	98.5%	10,000	7.5%	104.9%	464
経常利益	2,802	7,741	10,543	3,400	121.3%	7,600	98.2%	11,000	8.2%	104.3%	457
当期純利益	1,583	6,374	7,957	2,000	126.3%	6,000	94.1%	8,000	6.0%	100.5%	43
1株当たり配当金	6円	8円	14円	8円		8円		16円	-	2円	
設備投資額	1,207	1,474	2,681	-		-		3,500	130.5%	819	
減価償却費	766	886	1,652	-		-		1,958	118.5%	306	
期末従業員 (人)	正社員	3,359	-	3,374	-		-		3,570	-	196
	臨時雇用者	879	-	891	-		-		930	-	39
	合計	4,238	-	4,265	-		-		4,500	-	235

- ◆ 非住宅着工床面積が堅調に推移する見通しの中、当グループの売上高に占める「非住宅向け」の割合が7割を超えている状況を踏まえ、売上高は前期比105.8%の1,340億円を見込む。
- ◆ 営業利益は、前期比104.9%の100億円。営業利益率は、7.5%を見込む。
- ◆ 1株当たりの配当金は、2円増配の16円を見込む。
- ◆ 設備投資額は、前期比8億1,900万円増の35億円を計画。

# 売上高及び営業利益の増減要因

## 【売上高】

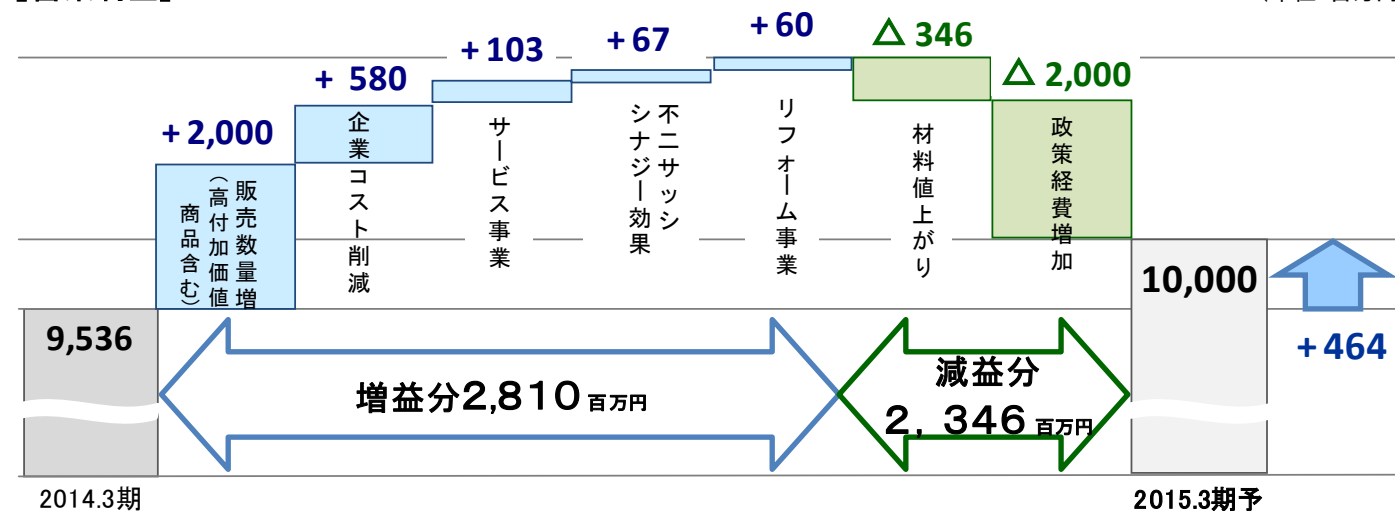
(単位: 百万円)



◆ 売上高は、「販売数量の増加」「サービス事業」の売上拡大などにより、73億8,600万円の増収を見込む。

## 【営業利益】

(単位: 百万円)



◆ 営業利益は、「販売数量の増加」「企業コスト削減」の取り組みなどにより、4億6,400万円の増益を見込む。

# セグメント別状況

(単位:百万円)

【売上高】	2014年3月期				2015年3月期			
	上期実績	伸率	通期実績	伸率	上期予測	伸率	通期予測	伸率
シャッター関連事業	22,297	113.4%	47,931	115.0%	23,300	104.5%	50,300	104.9%
建材関連事業	20,797	108.3%	49,195	108.8%	22,750	109.4%	52,550	106.8%
サービス事業	6,721	102.0%	14,983	108.0%	7,000	104.1%	15,800	105.4%
リフォーム事業	5,081	108.7%	11,042	115.3%	5,200	102.3%	11,700	106.0%
その他事業	1,673	152.2%	3,461	133.0%	1,750	104.6%	3,650	105.5%
合計	56,573	110.4%	126,614	112.1%	60,000	106.1%	134,000	105.8%

【営業利益】								
シャッター関連事業	2,558	107.4%	7,128	134.3%	2,875	112.4%	7,350	103.1%
建材関連事業	497	813.2%	2,249	306.2%	650	130.8%	2,350	104.5%
サービス事業	489	94.7%	1,697	118.1%	550	112.5%	1,800	106.1%
リフォーム事業	256	155.2%	740	187.2%	300	116.9%	800	108.1%
その他事業	59	674.7%	179	163.0%	75	126.8%	200	111.3%
配賦不能額	1,229	103.5%	2,458	99.6%	1,250	101.7%	2,500	101.7%
合計	2,630	135.2%	9,536	172.9%	3,200	121.7%	10,000	104.9%

【受注残高】								
シャッター関連事業	13,294	115.9%	12,683	117.4%	14,700	110.6%	14,300	112.7%
建材関連事業	28,227	122.6%	26,654	132.9%	34,600	122.6%	32,800	123.1%
サービス事業	1,582	84.1%	1,382	74.2%	1,600	101.1%	1,500	108.5%
リフォーム事業	1,567	145.8%	1,163	89.9%	1,600	102.1%	1,300	111.8%
その他事業	814	228.0%	896	150.8%	1,300	159.7%	1,100	122.8%
合計	45,486	120.3%	42,779	123.6%	53,800	118.3%	51,000	119.2%

【受注高】								
シャッター関連事業	24,791	110.7%	49,814	113.9%	25,316	102.1%	51,916	104.2%
建材関連事業	28,966	113.4%	55,789	114.8%	30,695	106.0%	58,695	105.2%
サービス事業	6,441	94.8%	14,503	103.1%	7,217	112.0%	15,917	109.8%
リフォーム事業	5,355	115.4%	10,911	111.8%	5,636	105.2%	11,836	108.5%
その他事業	1,894	158.5%	3,763	128.3%	2,153	113.7%	3,853	102.4%
合計	67,449	111.3%	134,783	113.2%	71,020	105.3%	142,220	105.5%

◆ 通期は全てのセグメントにおいて増収増益を見込んでおり、「売上高」は73億8,600万円増収の1,340億円、「営業利益」は4億6,400万円増益の100億円を計画。

14年3月期の「受注残高」実績が、前期比123.6%の427億7,900万円と81億6,900万円増加しており、通期の「受注高」を、前期比105.5%の1,422億2千万円と74億3,700万円の増加を見込んでいる。

# 第三次中期経営計画の進捗状況について

# 計画の進捗状況と事業別売上高推移について

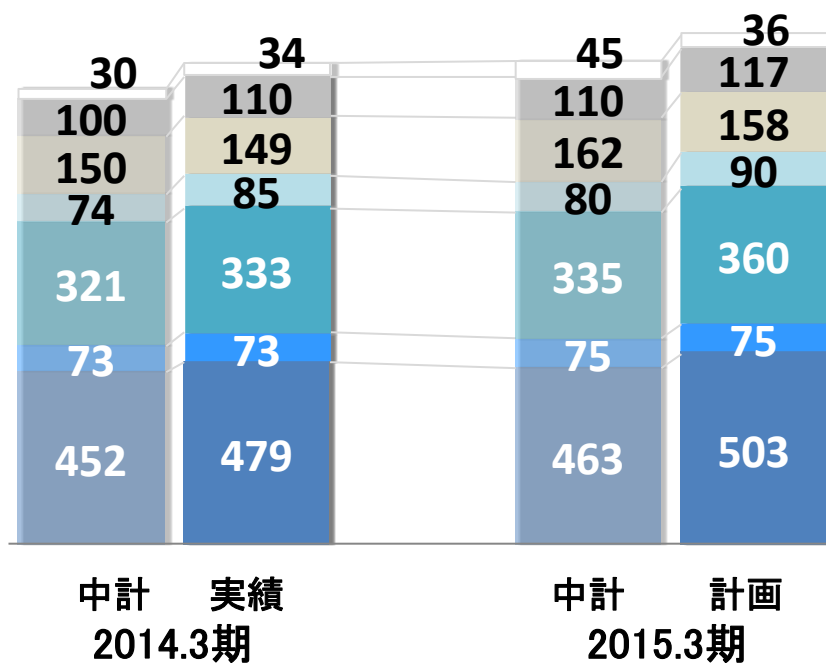
(億円)

	2014.3期		2015.3期	
	中計	実績	中計	計画
売上高	1,200	1,266	1,270	1,340
伸率	106.3%	112.1%	105.8%	105.8%
営業利益	70	95	76	100
営業利益率	5.8%	7.5%	6.0%	7.5%
投資額	30	26	35	35

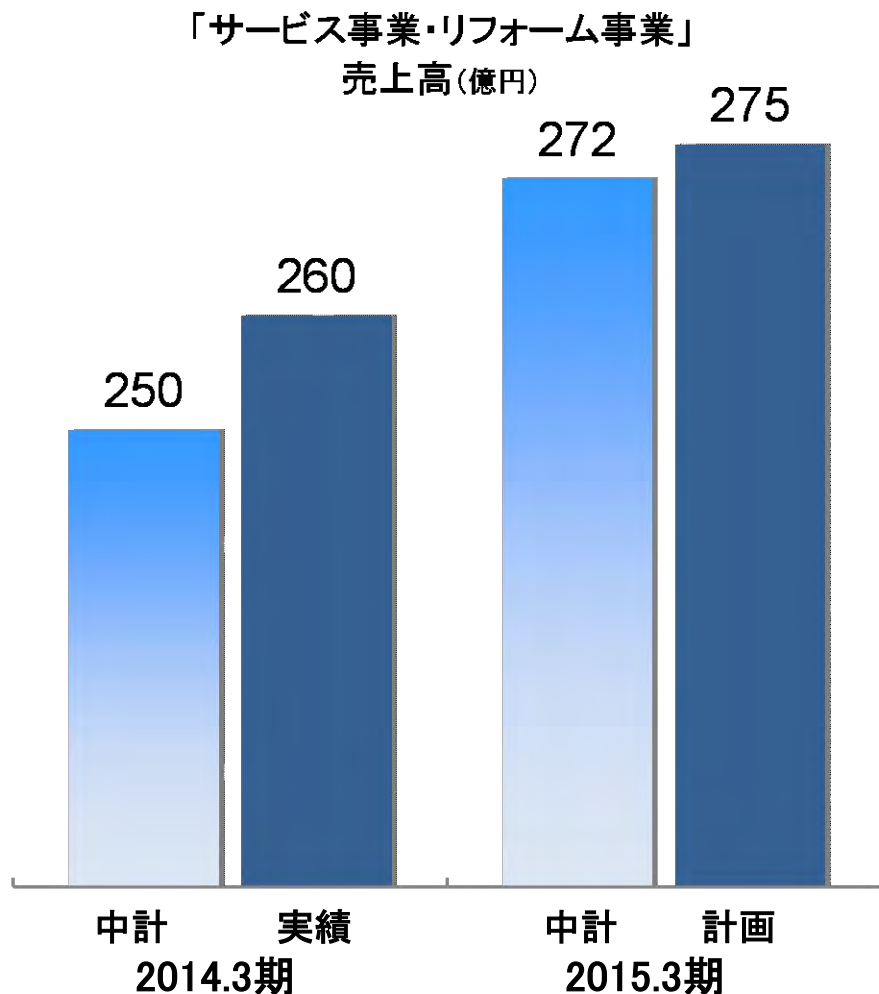
- ◆ 第三次中期経営計画の1年目となる14年3月期は、売上高は66億円増、営業利益は25億円増と、当初の計画を上回る業績を達成。
- ◆ 2年目となる15年3月期は、当初の計画を変更し、売上高は70億円増の1,340億円、営業利益は24億円増の100億円をめざす。

事業別売上高推移(億円)

その他事業
リフォーム事業
サービス事業
パーティション事業
ドア事業
エクステリア事業
シャッター事業



# 営業力の革新① スtock市場への注力



- ◆ 当グループは、拡大するStock市場に注力するため、メンテナンス(点検・修理)を中心とした「サービス事業」と、リニューアルを含めた「リフォーム事業」を展開している。
- ◆ 14年3月期の「Stock市場」向け売上高は、計画を10億円上回る260億円を達成。
- ◆ 今年4月には全国に法人営業専門の組織及び担当者を設置。地域密着型の営業体制を整備することで、今後もリニューアル需要を取り込んでいく。
- ◆ 15年3月期の「Stock市場」向け売上高は、当初計画比3億円増の275億円をめざす。



保守・点検風景

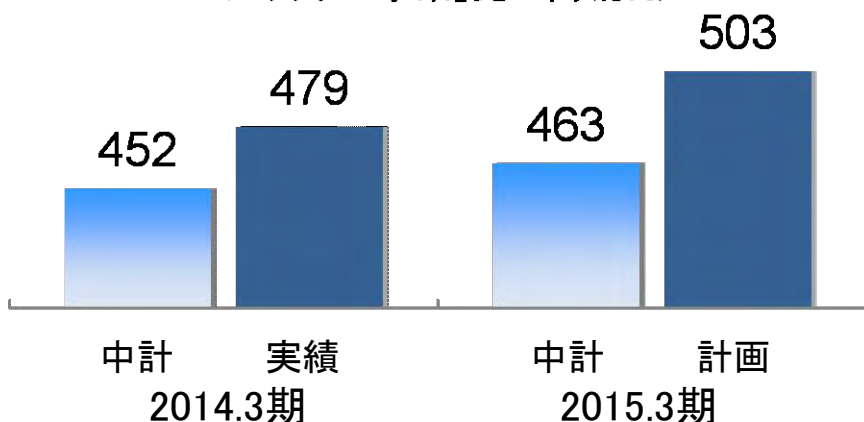


既設の横引雨戸を電動タイプにリフォームできる電動窓シャッター「ヨコタテ」



# 営業力の革新② シャッター・ドア事業の強化

「シャッター事業」売上高(億円)



## シャッター事業の強化

- ◆ 14年3月期は、住宅及び非住宅市場が共に好調に推移した結果、シャッター事業全体の売上高は、当初計画値を27億円上回る479億円を達成。
- ◆ 15年3月期は、引き続き堅調な非住宅市場を背景に、重量シャッターを中心とした拡販を進めることで、売上高は当初計画比40億円増の503億円をめざす。

「ドア事業」売上高(億円)



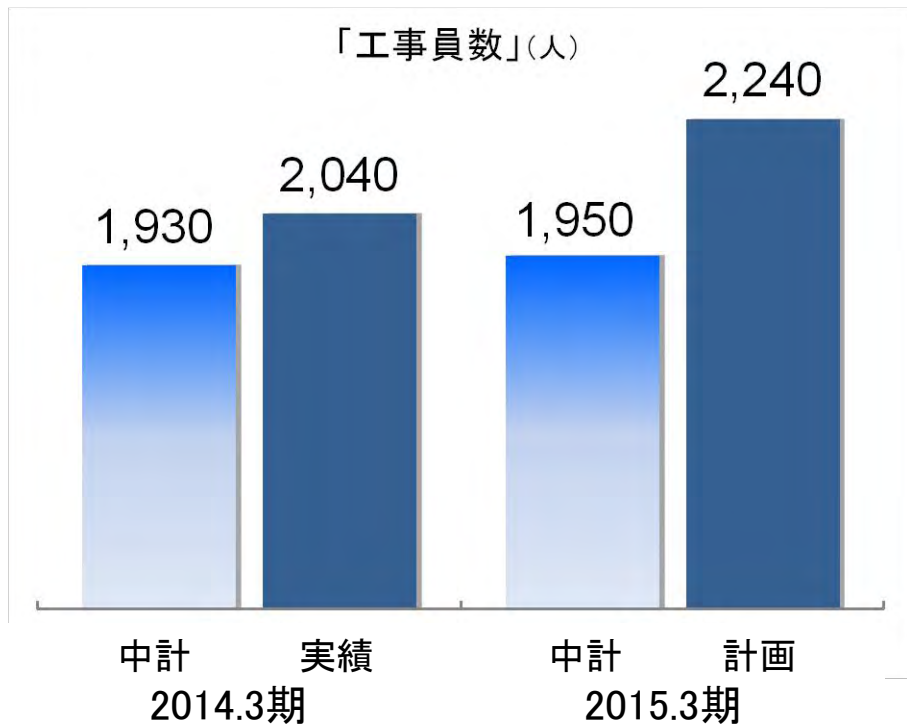
## ドア事業の強化

- ◆ 14年3月期は、主に非住宅向けのスチールドアが好調に推移した結果、ドア事業の売上高は当初計画値を12億円上まわる333億円を達成。
- ◆ 九州エリアにおけるスチールドアの生産及び供給体制を強化するため、建設を進めてきたBXケンセイ株式会社の第2工場(延床面積1,334.76㎡)が、今年4月より稼働を開始。
- ◆ 15年3月期は、非住宅向けのスチールドアと、病院・福祉施設向け引き戸の拡販を進めることで、売上高は当初計画比25億円増の360億円をめざす。



H26年4月より稼働を開始した  
BXケンセイ(株)第2工場棟の外観 15

# 営業力の革新③ 施工力の強化



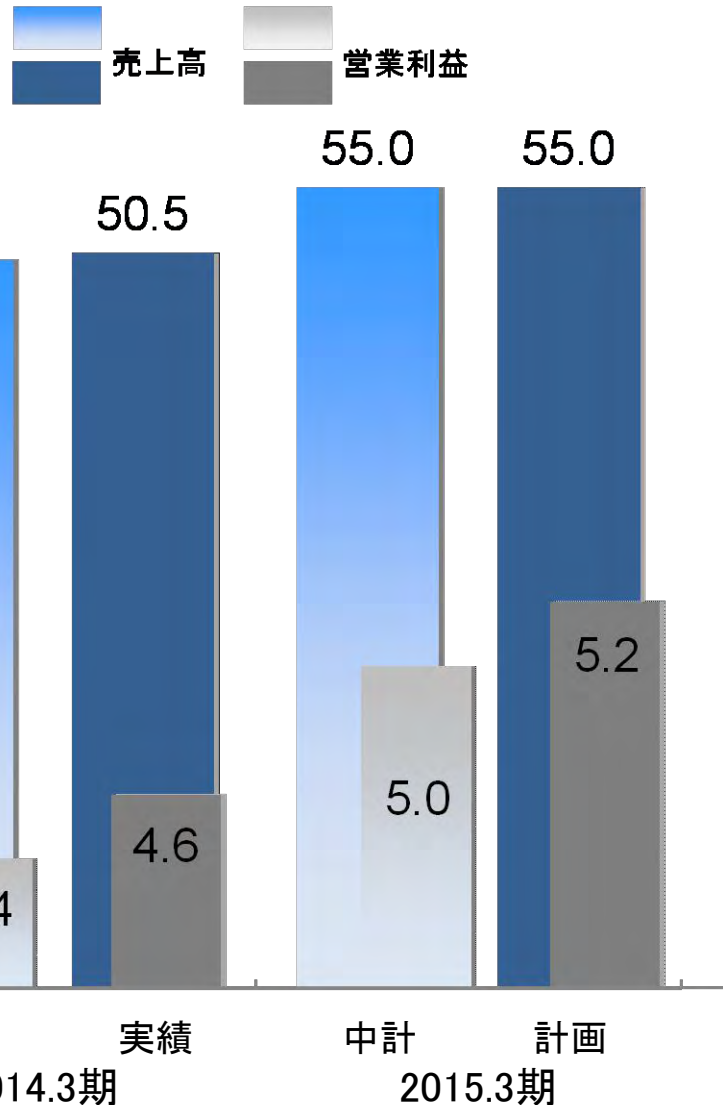
- ◆ 当社グループの売上高の約8割は施工を伴うため、施工力の強化と施工品質の向上は極めて重要な課題である。
- ◆ 現在、拡大する非住宅施設の建設受注を確保するため、新人工事育英制度や紹介制度の導入、工事会社の設立などにより、施工技術者である工事員の増強と施工品質の向上を推し進めている。
- ◆ 工事員については、14年3月期は計画比で110人増、前期比で125人増の2,040人に拡充。15年3月期は、計画比で290人増、前期比で200人増の2,240人に増強する。
- ◆ また、工事員が施工技術を習得できる研修施設を、兵庫県にある姫路工場内に今年6月をめどに開設。茨城県結城市にある研修施設とあわせた東西2拠点体制にすることで、施工力の強化と施工品質の向上につなげる。



シャッター及びドアの施工研修の様子

# 営業力の革新④ 不二サッシ株式会社とのシナジー効果追求

「不二サッシとの協業」  
売上高・営業利益(億円)



- ◆ 不二サッシ株式会社との協業の成果として、14年3月期の売上高は当初計画を5千万円上回る50億5千万円、営業利益は当初計画を2千万円上回る4億6千万円を達成。コストダウン額は8,900万円と、当初計画を400万円上回った。
- ◆ 協業6年目を迎える15年3月期は、店舗等のフロント商品の拡販、東南アジア市場での相互商品の複合販売を進めるなど、さらなる協業を拡大することで、売上高は当初計画の55億円、営業利益は計画比2千万円増の5億2千万円をめざす。
- ◆ コスト削減については、相互の物流拠点を全国展開することで、より一層の物流費削減を推し進める。

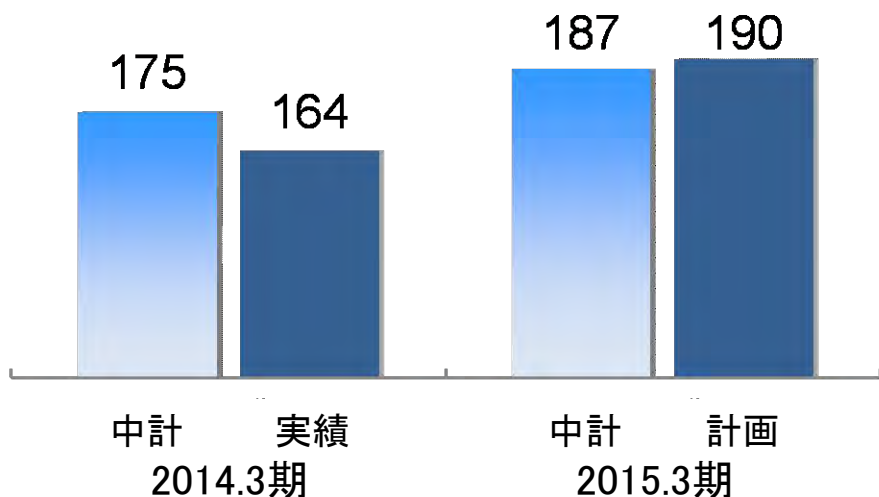


耐水圧性能と止水性能を併せ持つ止水耐水フロント「Fフロント水防タイプ」



アルミ枠を使用した軽量構造の学校間仕切「SAA70」

「高付加価値商品売上高」(億円)



- ◆ 高付加価値商品の拡販について、14年3月期は計画は未達ながらも、売上高は前期比105.9%の164億円と好調に推移した。
- ◆ 15年3月期は、差別化商品の積極的な市場への投入により、当初計画比3億円増の190億円をめざす。

### ◆高付加価値商品の拡販による収益の拡大

当社グループは、お客様に「安心」「安全」かつ「快適」にお使い頂ける高機能タイプの商品を「高付加価値商品」と位置づけ、全12種類の商品を拡販することで、収益の拡大を進めている。

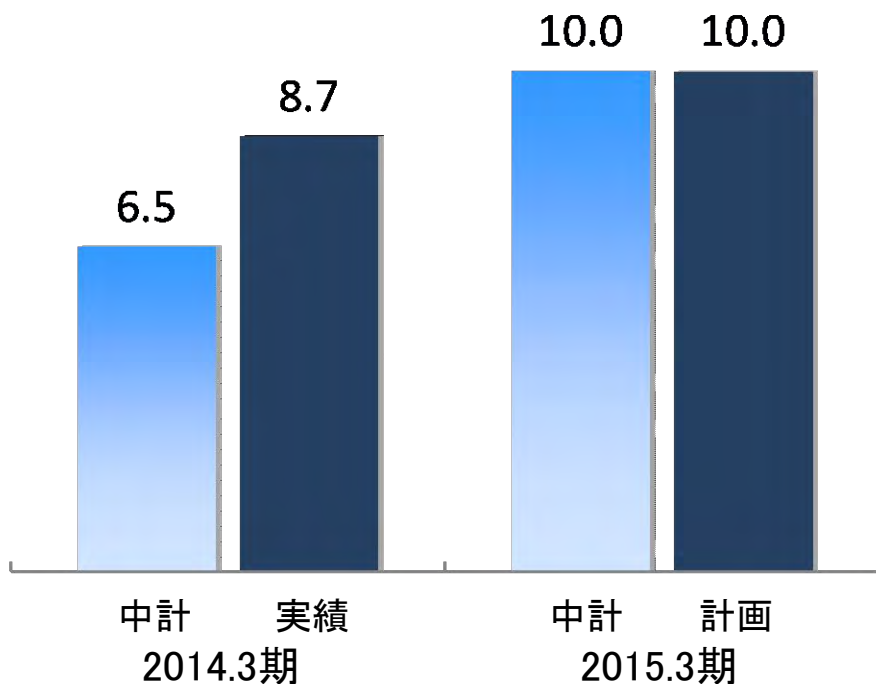
### ◆高付加価値商品ラインアップ

- <住宅向け> 「エスプリモート」「御前様」「フラットピット」「大静快」「電動窓シャッター」
- <工場・倉庫向け> 高速シートシャッター「大間迅」
- <医療・福祉施設向け> 「カームスライダー」「ヒクオス」「スライドレ」「ヴァリフェイス」
- <その他施設向け> 木粉入り樹脂エクステリア「テクモク」「オーニング」



# 営業力・商品力の革新②「エコ&防災」太陽光発電システム事業の取り組み強化

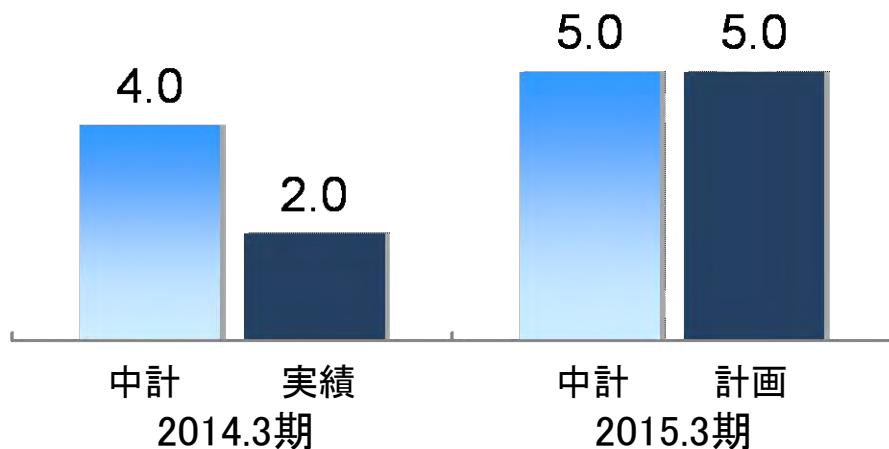
「太陽光発電システム事業」  
売上高(億円)



- ◆ 太陽光発電システム事業について、14年3月期は掛川工場の他、新潟県と香川県の遊休地に太陽光発電システムの設置を完了し、再生可能エネルギーの提供を通じて地域社会に貢献する取り組みを実践した。
- ◆ 当事業については、対象エリアを関東から中部、関西、九州、東北に拡大したことなどにより、14年3月期の売上高は当初の計画を2億2千万円上回る8億7千万円を達成。
- ◆ 今後も太陽光発電システムの設置は小規模ながらも堅調に推移する見通しから、15年3月期は当初の計画達成をめざす。



「止水事業」  
売上高(億円)

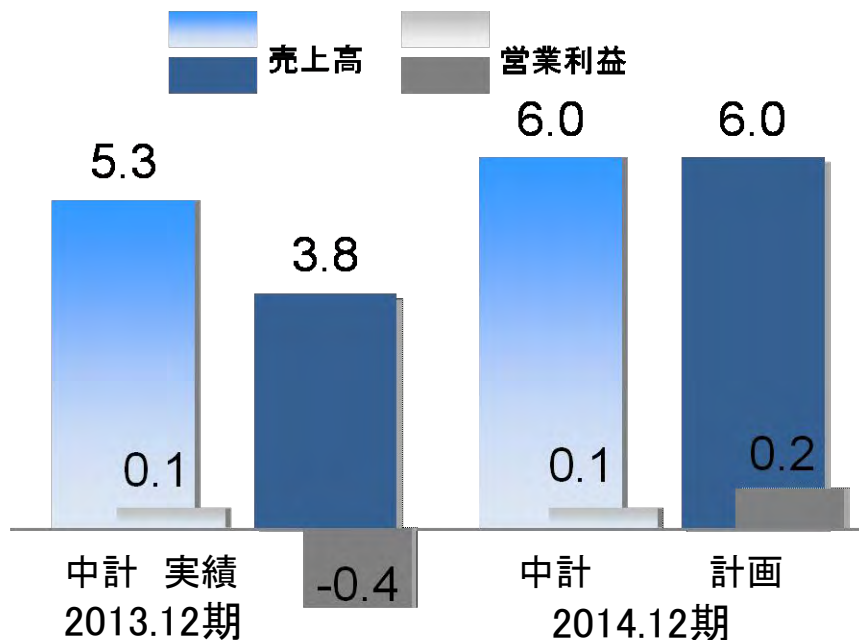


## BXオリジナル 止水商品



- ◆ 14年3月期は、当社オリジナルの簡易型止水シート「止めピタ・フロントタイプ」と、不二サッシ株式会社と共同で開発した止水耐水フロント「Fフロント水防タイプ」を発売。「スピードかつ簡単設置」をコンセプトとした止水商品を市場に投入した。
- ◆ 14年3月期の売上高は計画未達となったが、事業開始から3年目を迎えた今期は、近々に発売する「簡易型止水ドア」をはじめとする新商品をテコに、お客様のご要望に沿ったきめ細かいソリューションを提供することで、当初の計画達成をめざす。

「BX BUNKA-VIETNAM Co.,Ltd」  
売上高・営業利益(億円)



- ◆ 海外事業について、13年12月期はベトナムにおける黒字化を目標に事業を展開する中で、売上高は計画未達となったが、前期比では131.4%と大幅に増加した。一方、原価率は、前期に比べて12.1ポイントダウンしたものの、黒字化までには至らなかった。
- ◆ 14年12月期は、日系の大型スーパーなどの商業施設や高層マンション向けの需要を取り込むとともに、現地の大手建材メーカーとの提携によりローカル向けの販売チャネルを構築することで、当初計画の売上高6億円をめざす。
- ◆ さらに14年12月期は、原材料となる鋼材を、これまでの台湾からベトナムでの現地調達に切り替える等のコスト削減に取り組み、原価率を低減させることで黒字化の達成をめざす。



今年3月に行われたベトナム最大規模の国際建材展示会「ベトビルド」に出展し、BXブランドをPR



昨年12月に設立した台湾・グライダー社との合併会社「BX BUNKA TAIWAN」の事務所外観

(億円)

	2014.3期		2015.3期	3ヶ年合計	主な施策
	計画	実績	計画	計画	
製造・開発部門 コスト削減	4.0	2.9	4.0	12.0	材料コスト削減 製品VE ムダ、ムラの削減
販売・設計・施工 部門コスト削減	1.0	1.8	0.8	9.0	商品仕入れ見直し 作図生産性向上 施工生産性向上
一般固定費削減	0.6	0.6	1.0	6.0	BXTCR活動 (契約単価見直し等)
コスト削減の合計	5.6	5.3	5.8	27.0	

- ◆ 企業コストを削減する取り組みにおいて、14年3月期から3ヶ年の合計で27億円のコスト削減を推進中。
- ◆ 14年3月期は、合計で5億3千万円と計画を下回った。
- ◆ 15年3月期は、合計で5億8千万円のコスト削減をめざし、今期の営業利益100億円の達成につなげる。



# 参考資料

---

# 文化シャッターグループ概要

- 経営理念 「常にお客様の立場に立って行動します」  
「優れた品質で社会の発展に貢献します」  
「積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び子会社15社
- 事 業 シャッター事業、ビル建材・住宅建材事業、リフォーム事業、  
保守・点検・サービス事業、他
- 拠 点 286営業拠点 118／サービス拠点 22工場
- 従業員数 3, 374名(2014年3月末現在)

## 【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 茂木 哲哉  
設 立 1955年(昭和30年)4月18日  
資本金 15, 051百万円  
本 社 東京都文京区西片1-17-3

# 文化シャッターグループの構成と海外事業展開

## 文化シャッター株式会社

### シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

新生精機 株式会社

「オーニング」製造・販売

BXテンパール 株式会社

「シャッター」製造・販売

BX沖縄文化シャッター  
株式会社

不二サッシ株式会社: 持分法適用会社  
株式会社エコウッド: 関連会社

### 建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

BX文化パネル  
株式会社

「ドア」「スライディングウォール」  
製造・販売

BXティアール  
株式会社

「ドア」製造

BXケンセイ 株式会社

BX鐵矢 株式会社

BX東北鐵矢 株式会社

BX朝日建材 株式会社

「ステンレス建材」製造・販売

BX紅雲 株式会社

### サービス事業

「保守・点検」「修理加工」

文化シャッターサービス  
株式会社

### その他事業

「注文家具」製造・販売

BX文化工芸 株式会社

損害保険代理業

BXあいわ 株式会社

### リフォーム事業

住宅向けリフォーム事業

ゆとりリフォーム  
株式会社

### 海外事業展開

「シャッター」「ドア」「オーニング」  
製造、販売

BX BUNKA VIETNAM

(ベトナム)

「各種シャッター製品」  
販売・メンテナンス

BX BUNKA TAIWAN

(台湾)

～海外企業との技術提携～

ベルギー「ダイナコ社」

1999年より高速シートシャッター  
「エア・キーパー大間迅」を発売



# 連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2013年3月期		2014年3月期		増 減	
		構成比		構成比		前期末比
<b>流動資産</b>	62,011	64.8	72,488	66.0	10,477	116.9
現金・預金	16,113	16.8	22,612	20.6	6,499	140.3
受取手形・売掛金	30,637	32.0	35,319	32.2	4,682	115.3
たな卸資産	11,731	12.3	11,165	10.2	△ 566	95.2
その他	3,530	3.7	3,388	3.1	△ 142	96.0
<b>固定資産</b>	33,672	35.2	37,292	34.0	3,620	110.8
土地	8,495	8.9	8,373	7.6	△ 122	98.6
投資有価証券	8,479	8.9	9,305	8.5	826	109.7
その他の投資・資産	2,801	2.9	2,745	2.5	△ 56	98.0
その他	13,897	14.5	16,869	15.4	2,972	121.4
<b>資産合計</b>	95,684	100.0	109,780	100.0	14,096	114.7
<b>流動負債</b>	37,046	38.7	41,229	37.6	4,183	111.3
支払手形・買掛金	21,692	22.7	24,367	22.2	2,675	112.3
短期借入金	1,800	1.9	1,800	1.6	0	100.0
その他	13,554	14.2	15,062	13.7	1,508	111.1
<b>固定負債</b>	19,359	20.2	18,044	16.4	△ 1,315	93.2
長期借入金	1,280	1.3	480	0.4	△ 800	37.5
退職給付引当金	16,328	17.1	-	-	△ 16,328	-
退職給付に係る負債	-	-	15,832	14.4	15,832	-
その他	1,751	1.8	1,732	1.6	△ 19	98.9
<b>負債合計</b>	56,406	59.0	59,274	54.0	2,868	105.1
<b>純資産合計</b>	39,278	41.0	50,506	46.0	11,228	128.6
<b>負債・純資産合計</b>	95,684	100.0	109,780	100.0	14,096	114.7

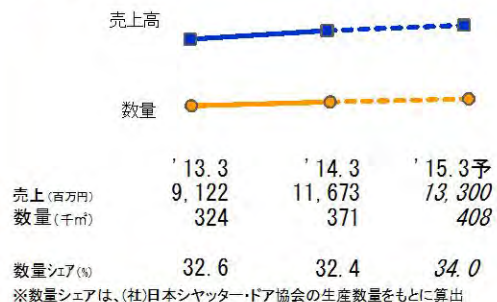
# 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	増減
<b>1. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	5,456	7,663	2,207
税金等調整前当期純利益	6,876	10,583	3,707
減価償却費	1,552	1,647	95
売上債権の増減額(△は増加)	△ 786	△ 4,682	△ 3,896
仕入債務の増減額(△は減少)	47	2,675	2,628
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 156	582	738
法人税等の支払額	△ 1,468	△ 3,562	△ 2,094
その他	△ 609	420	1,029
<b>2. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 480	△ 2,272	△ 1,792
投資有価証券の売却による収入	17	8	△ 9
投資有価証券の取得による支出	△ 38	△ 5	33
有形固定資産の売却による収入	390	54	△ 336
有形固定資産の取得による支出	△ 1,012	△ 2,134	△ 1,122
無形固定資産の取得による支出	△ 138	△ 200	△ 62
その他	301	5	△ 296
<b>3. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 3,176	885	4,061
長短期借入金の増減額	△ 50	-	50
配当金の支払額	△ 525	△ 824	△ 299
その他	△ 2,601	1,709	4,310
<b>4. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	1,765	6,208	4,443
<b>5. 現金及び現金同等物の期首残高</b>	13,956	15,722	1,766
<b>6. 現金及び現金同等物の期末残高</b>	15,722	21,931	6,209

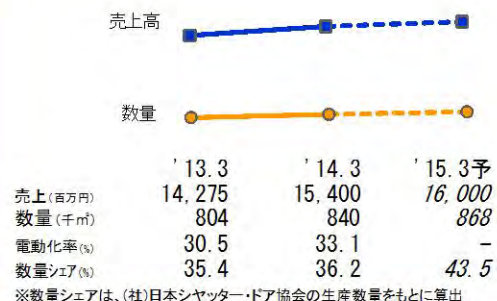
# シャッター—関連製品の状況（主要製品）

## <重量シャッター>



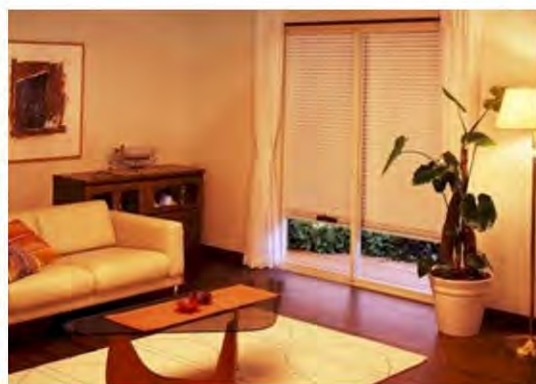
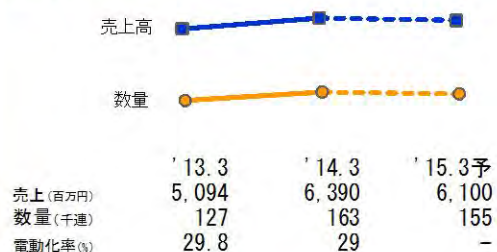
- ◆ 14年3月期は、主に物流倉庫、大型商業施設向けが好調に推移した結果、売上高は前期比128.0%と大幅に増加。
- ◆ 15年3月期は、採算重視を前提とした積極的な受注活動の継続により、売上高は前期比113.9%の133億円を計画。

## <軽量シャッター>



- ◆ 14年3月期は、新設住宅着工戸数が回復した影響等により、売上高は前期比107.9%と増加。
- ◆ 15年3月期は、増改築に伴う電動タイプの取り替え需要を見込み、売上高は前期比103.9%の160億円を計画。

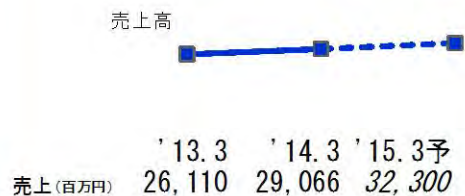
## <窓シャッター>



- ◆ 14年3月期は、新設住宅着工戸数が回復した影響もあり、売上高は前期比125.4%と大幅に増加。
- ◆ 15年3月期は、雨戸から電動タイプへの取り替えと自然災害から身を守る防災商品としての提案を進めることで、売上高は前期比95.4%の61億円を計画。

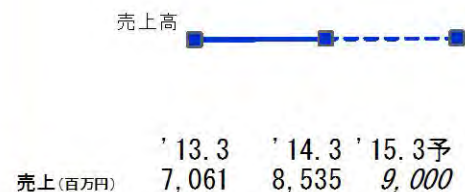
# 建材関連製品の状況（主要製品）

## <ドア>



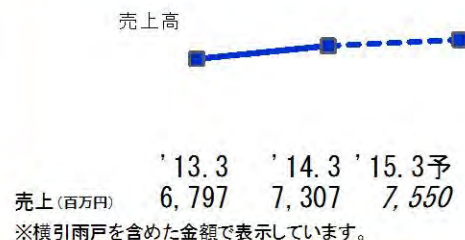
- ◆ 14年3月期は、主に大型商業施設、オフィスビル 向けのスチールドアが好調に推移し、売上高は前期比111.3%と増加。
- ◆ 15年3月期は、引き続き大型商業施設向けのスチールドアや医療福祉施設向けの引き戸を中心に、採算重視の受注活動を継続することで、売上高は前期比111.1%の323億円を計画。

## <パーティション>



- ◆ 14年3月期は、文教施設、大型商業施設向けが好調に推移したことで、売上高は前期比120.9%と大幅に増加。
- ◆ 15年3月期は、引き続き大型商業施設向けの受注拡大を図ることで、売上高は前期比105.4%の90億円を計画。

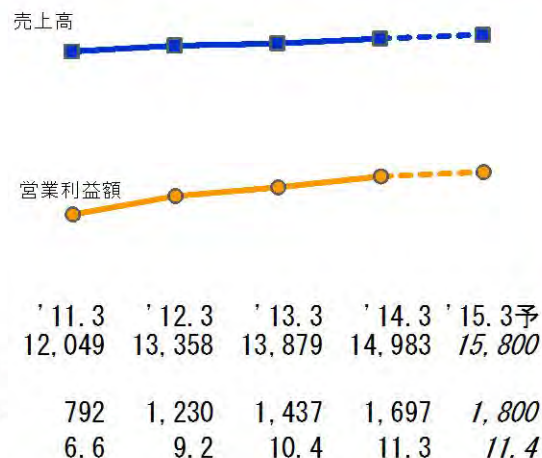
## <エクステリア>



- ◆ 14年3月期は、新設住宅着工戸数が回復した影響もあり、売上高は前期比107.5%と増加。
- ◆ 15年3月期は、エコ建材「テクモク」の拡販を図ることで、売上高は前期比103.3%の75億5千万円を計画。

# サービス事業およびリフォーム事業の状況

## <サービス事業>



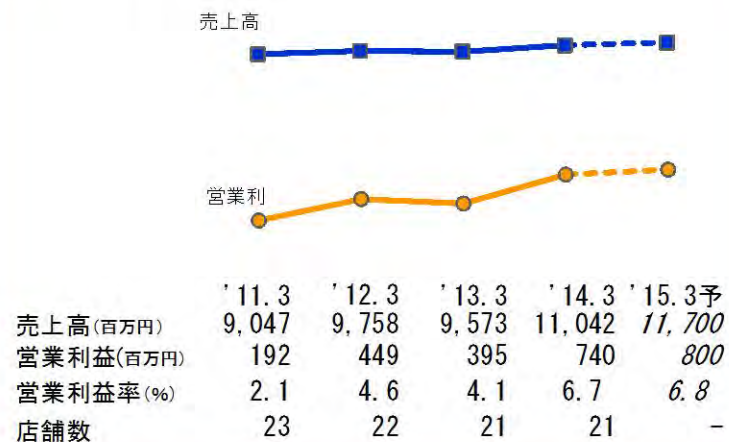
◆ 14年3月期は、修理及びメンテナンス対応が堅調に推移したことで、売上高は前期比108.0%と増加。

◆ 15年3月期は、防災気運の高まりを受け、安全性を高める装置の設置と、保守点検契約の提案を積極的に推し進めることで、売上高は前期比105.5%の158億円を計画。



保守点検の様子

## <リフォーム事業>



◆ 14年3月期は、消費増税に伴う駆け込み需要の影響等を背景に、リピートオーダー率が52.6%と前期比3.9ポイント改善したことで、売上高は前期比115.3%と増加し、100億円を突破。

◆ 15年3月期は、「超安心価格」の拡販と、リピート受注を強化していくことで、売上高は前期比106.0%の117億円を計画。

東証一部上場 文化シャッターグループ リフォーム専門会社

**ゆとりフォーム**



パッケージ型の定額リフォーム商品「安心価格」に加え、追加工事が不要な「超安心価格」の拡販を推進中



## 問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曾根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail [bxinfo@mail.bunka-s.co.jp](mailto:bxinfo@mail.bunka-s.co.jp)

<http://www.bunka-s.co.jp/>